

2019年3月期 決算説明資料



2019年5月7日

株式会社NEW ART HOLDINGS



証券コード:7638

1. 2019年3月期 決算概要
2. 2019年3月期 取り組み
3. 2020年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
5. 株主還元

1. 2019年3月期 決算概要

2. 2019年3月期 取り組み

3. 2020年3月期 連結業績予想

4. 中期経営計画

5. 株主還元

1

2019年3月期

過去最高 売上高・営業利益・経常利益を更新

売上高 17,585百万円 (前期比 22.8%増)

営業利益 2,526百万円 (前期比 210.2%増)

2

2020年3月期業績予想 **増収増益**

売上高 18,400百万円

営業利益 2,750百万円

3

株主還元策 **拡充**

期末配当金 1株当たり20円(株式併合後)

自己株式の取得 10億円を計画

売上高	17,585百万円	前期比 3,264百万円増	22.8%増
営業利益	2,526百万円	前期比 1,712百万円増	210.2%増

大幅増収減益

売上高

主力のブライダルジュエリー事業が好調に推移したことに加えて、アート事業の絵画取引の増加により、前期と比べ大幅に増加

営業利益

ブライダルジュエリー事業の売上増加に加えて、全身美容事業の黒字化により、前期と比べ大幅に増加

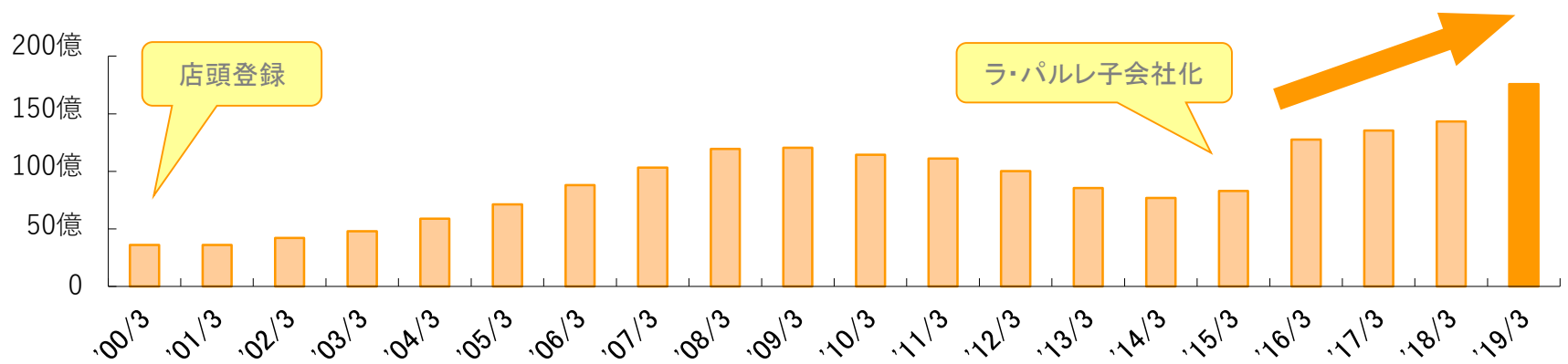
(3)売上高・営業利益(連結)の推移

2019年3月期

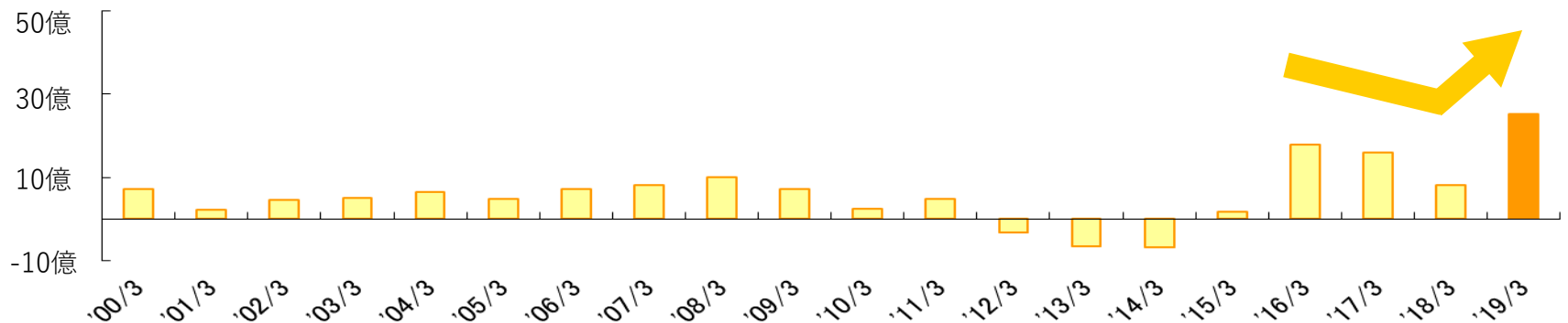
過去最高を更新 売上高**175億円** 営業利益**25億円**

売上高

(単位:円)



営業利益

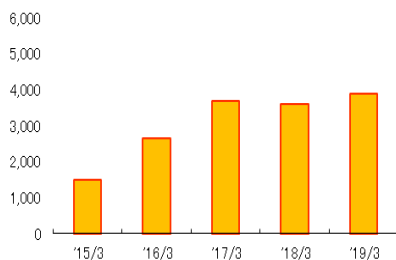


(4)売上高・営業利益(連結)の四半期推移

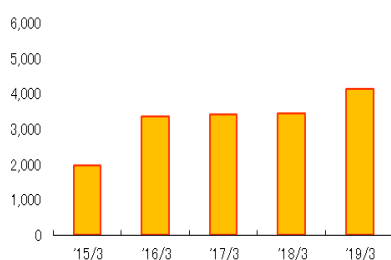
売上高

(百万円)

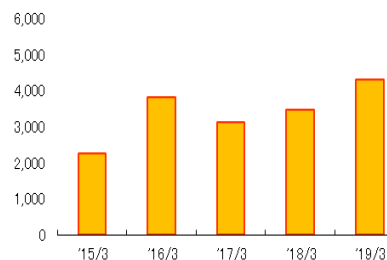
第1四半期



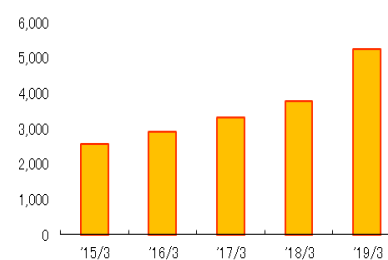
第2四半期



第3四半期



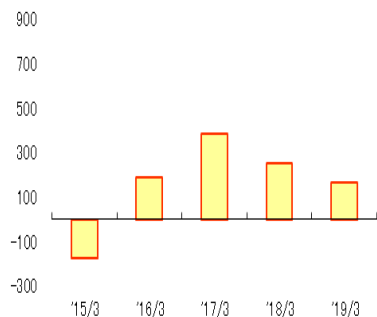
第4四半期



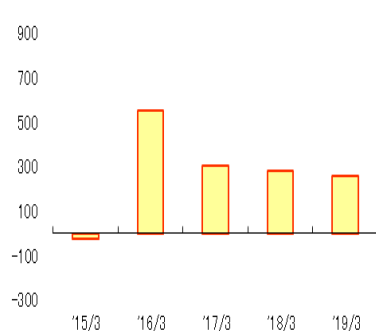
営業利益

(百万円)

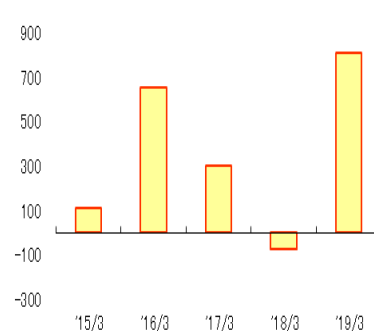
第1四半期



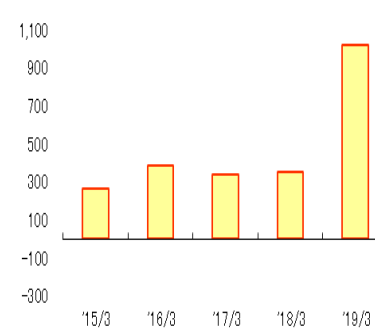
第2四半期



第3四半期



第4四半期



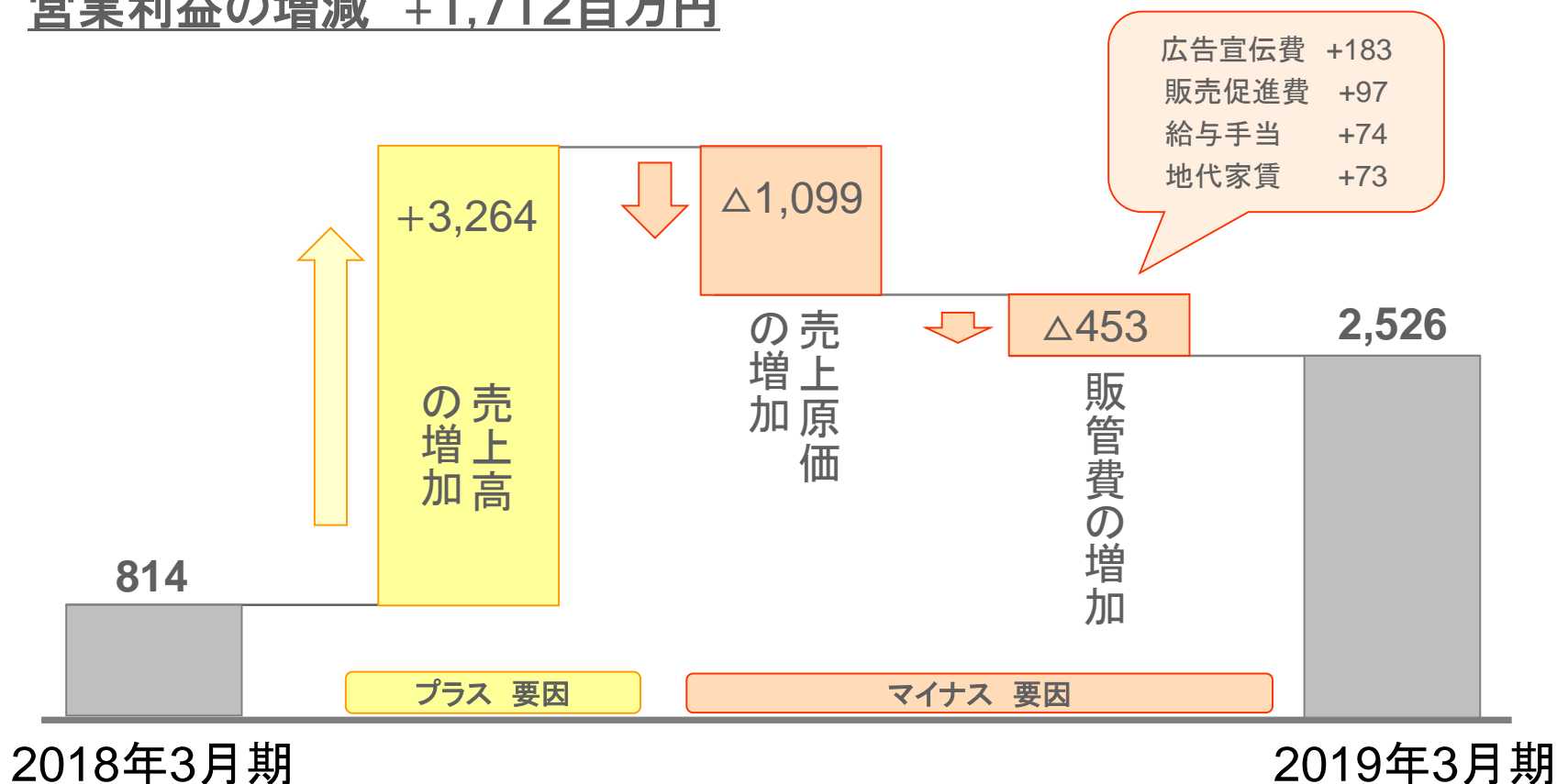
(5) 営業利益(連結)の増減分析

営業利益 2,526百万円 (前期比+1,712百万円)

営業利益率 14.4% (前期比+8.7pt)

営業利益の増減 +1,712百万円

(単位:百万円)



(6)2019年3月期 業績(連結)

[単位:百万円]

	2018年3月期	2019年3月期	増減	増減率	トピックス
売上高	14,320	17,585	+3,264	22.8%	[売上高] ブライダルジュエリー 事業が好調に推移
売上原価	5,775	6,875	+1,099	19.0%	
売上総利益	8,544	10,710	+2,165	25.3%	
販売管理費	7,730	8,183	+453	5.9%	[売上原価率] 40.3% ⇒ 39.1% [売上高販管費率] 54.0% ⇒ 46.5%
広告宣伝費	2,024	2,207	+183	9.0%	
給与手当	1,659	1,734	+74	4.5%	
営業利益	814	2,526	+1,712	210.2%	[特別損失 主要因] ・IT関連(仮想通貨関 連)事業撤退により貸 倒引当金繰入額372 百万円を計上 ・固定資産の減損損 失249百万円を計上
経常利益	725	2,388	+1,663	229.3%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	94	916	+822	872.8%	
営業利益率	5.7%	14.4%	+8.7 pt	—	

ブライダルジュエリー事業※ 大幅増収増益

- 国内は引き続き好調
 - ・テレビCMやWEB広告等の集客強化により来店客数が増加
 - ・販売員のスキル向上により成約率も上昇
- 海外も、新店舗増加により順調に推移

※セグメントの名称変更

第3四半期より「ジュエリー事業」及び「エステ事業」のセグメントの名称を、より適切に表現するために、「ブライダルジュエリー事業」及び「全身美容事業」に変更。

全身美容事業※ 増収増益

- 売上拡大、利益率の改善を図るため、店舗統合、顧客層の見直し、商品構成変更、化粧品事業への取り組み、広告宣伝費の見直し等を実施し、黒字化を達成

アート事業 増収減益

- 美術品の販売に加えて、新規事業としてのアートファンドの立ち上げ準備中

その他事業 増収増益

- スポーツ関連事業:ゴルフシャフトブランド「CRAZY」の認知拡大を目指すと同時に、新製品開発を強化
- IT関連(仮想通貨関連)事業: 2018年12月に事業撤退

(7)セグメント別業績②

〔単位：百万円〕		2018年3月期	2019年3月期	増減	増減率
ブライダル ジュエリー 事業 ※4	売上高※3	9,777	12,538	+2,761	28.2%
	セグメント利益※1	1,546	2,900	+1,353	87.5%
全身美容 事業 ※4	売上高※3	2,676	2,773	+97	3.6%
	セグメント利益※2	△282	74	+357	—
アート 事業	売上高※3	1,476	1,875	+399	27.0%
	セグメント利益※2	75	73	△2	△3.7%
その他 事業	売上高※3	392	411	+19	4.9%
	セグメント利益※2	△181	31	+212	—
調整額	売上高	△1	△14		
	セグメント利益※1 ※2	△344	△553		

※1 調整額のセグメント利益は全社費用(報告セグメントに帰属しない一般管理費)

※2 セグメント損失は△で記載しています

※3 セグメント間の内部売上高及び振替高は含まず

※4「ジュエリー事業」および「エステ事業」のセグメントの名称を、「ブライダルジュエリー事業」及び「全身美容事業」に変更

(8)貸借対照表(連結)の概要

[単位:百万円]

	2018年3月期	2019年3月期	増減
流動資産	9,735	11,379	+1,643
固定資産	4,116	3,911	△204
資産合計	13,852	15,290	+1,438
流動負債	5,962	6,945	+982
固定負債	1,234	870	△363
負債合計	7,197	7,816	+619
純資産	6,654	7,474	+819
負債及び純資産合計	13,852	15,290	+1,438

変動要因
◆流動資産 ・現預金+719 ・受取手形及び売掛金+889
◆固定資産 ・有形固定資産△175
◆流動負債 ・前受金+520 ・未払法人税+345
◆固定負債 ・長期借入金△567
◆純資産 ・親会社株主に帰属する当期期純利益による利益剰余金+916
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 自己資本比率 48.9 % </div>

1. 2019年 決算概要

2. 2019年3月期 取り組み

3. 2020年3月期 連結業績予想

4. 中期経営計画

5. 株主還元

(1) ブライダルジュエリー事業



国内展開

統合店・新店舗の推進、積極的なマーケティング活動
ブランドイメージの強化

海外展開

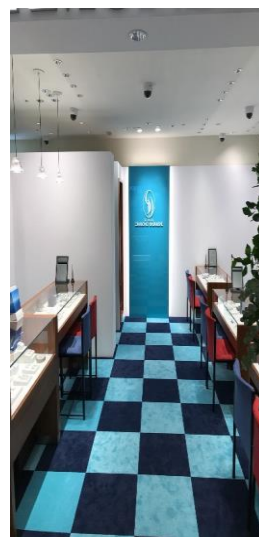
積極的な新規出店(デパート)及び集客力・販売力の強化

<新統合店舗>

- 2018年6月 大阪店 DS(新設)&EX
- 2018年7月 町田店 DS&EX(新設)
- 2018年12月 博多マルイ店 DS(新設)&EX(新設)
- 2019年1月 神戸店 DS(新設)&EX
- 2019年1月 福岡店 DS&EX(新設)

<新店舗>

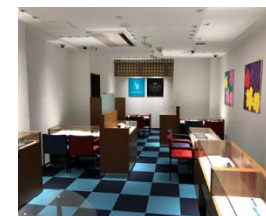
- 2018年9月 新光三越台北南西店(台湾) DS
- 2018年11月 ららぽーと湘南平塚店 DS
- 2019年3月 新光三越台南西門店 DS



▲ 新光三越
台北南西店



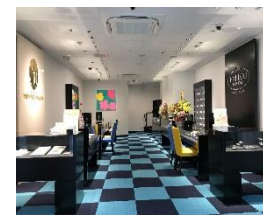
▲ 博多マルイ店
《統合店舗》



▲ 福岡本店
《統合店舗》



▲ ららぽーと
湘南平塚店



▲ 神戸本店
《統合店舗》

全身美容事業

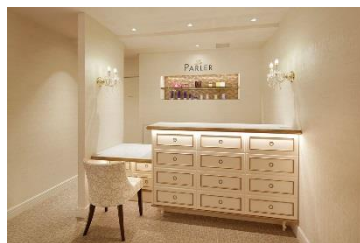


中期的な売上拡大・利益率改善を
図るため、構造改革を推進

- 店舗統合
- 顧客層の見直し
- 商品構成の変更
- 化粧品事業への取り組み
- 広告宣伝費の見直し等



黒字化を達成



アート事業

アート×金融
アートファンドの立ち上げ
計画



早期実現に
向けた取り組み



1. 2019年3月期 決算概要
2. 2019年3月期 取り組み
3. 2020年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
5. 株主還元

(1) 通期連結業績予想

売上高 **18,400**百万円 営業利益 **2,750**百万円

[単位:百万円]

	2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (業績予想)	増減率
売上高	17,585	18,400	4.6%
営業利益	2,526	2,750	8.8%
経常利益	2,388	2,710	13.5%
当期純利益	916	1,770	93.1%

1. 2019年3月期 決算概要
2. 2019年3月期 取り組み
3. 2020年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
5. 株主還元

(1)中期経営計画 数値目標

2022年3月期 売上高195億円、営業利益 29.5億円を目指す

<連結数値目標>

[単位:百万円]

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期
	(実績)	(予想)	(目標)	(目標)
売上高	17,585	18,400	19,000	19,500
営業利益	2,526	2,750	2,850	2,950
経常利益	2,388	2,710	2,800	2,900
親会社株主に帰属する当期純利益	916	1,770	1,830	1,890

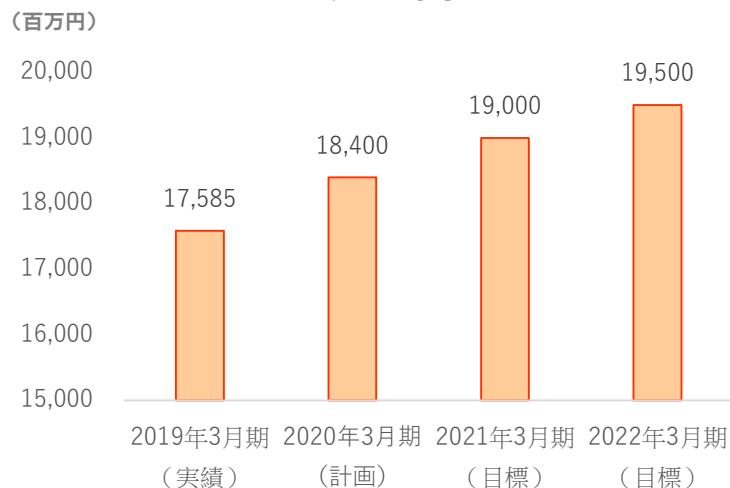
(2) 中期経営計画 概要

【基本方針】

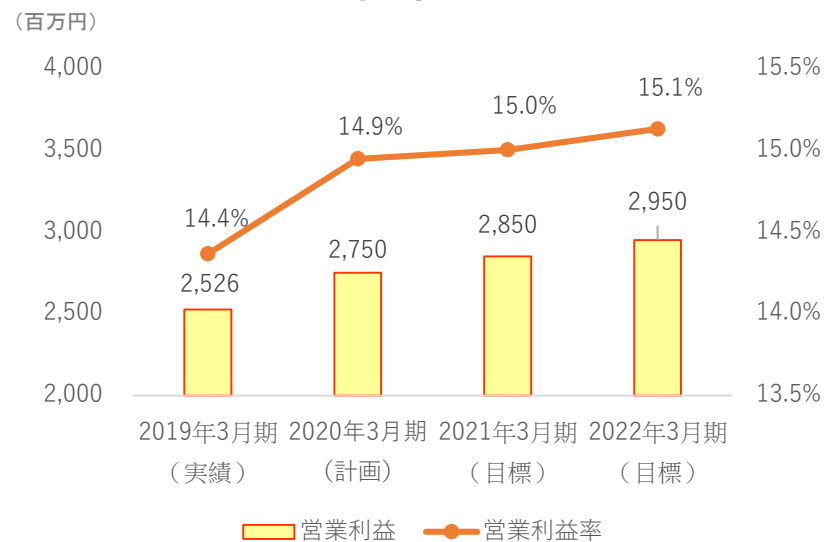
- 海外国内既存事業の更なる拡大
- 海外展開の推進
- 新規事業の育成
- 利益を生み出す筋肉質な組織構築を図る

ブライダルジュエリー事業を
基軸に売上拡大を図り
営業利益率15%
(長期的には20%)以上を目指す

売上高



営業利益



(3)各事業の取り組み（ブライダルジュエリー） ● new art

ブライダルジュエリー事業

- アジア展開の推進
- 中長期的な販売平均価格帯の引き上げ
- 社内体制の整備・強化

ブライダルジュエリー業界No1へ

〔現在〕
収益性
業界No.1※



〔未来〕
収益性に加えて
売上規模も業界No.1へ

※自社調べ

全身美容事業

- 顧客満足度の追求
- 人材の育成・定着

アート事業

- アートファンドの立ち上げ
- 金融事業の立ち上げ

利益率の向上



日本初のアートファンド

- ・ パートナー企業との連携強化
- ・ グループ企業に対する信販事業

1. 2019年 決算概要
2. 2020年3月期 取り組み
3. 2020年3月期 連結業績予想
4. 中期経営計画
5. 株主還元

[基本方針]

- ・将来の事業規模拡大に不可欠な成長投資を優先し、株主利益及び企業価値の最大化に努める
- ・株主還元については、業績向上による株価上昇と剰余金の配当等によって総合的に実現し、中長期的に総還元性向30%を目指す

2019年2月25日
配当予想の修正（増配）を決議

期末配当金

自己株式の取得

2019年3月期 0.3円 ⇒ 1円（予定） —

2020年3月期 20円（予想）^{※1} 10億円（上限）^{※2}

※1 2019年10月1日を効力発生日として20株につき1株の割合をもって株式併合を実施予定であるため、2020年3月期の一株当たり期末配当金は当該株式併合を考慮して記載。考慮しない場合の一株当たり期末配当金は1円

※2 取得期間：2019年5月8日～2020年5月7日。発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合：11.35%



IR情報に関するお問い合わせ

株式会社 NEW ART HOLDINGS 経営企画部

Tel. 03-3567-8098 Fax. 03-3567-8092

(注)本資料における業績予想や将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報にもとづき合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性その他の要因が内包されております。したがって、実際の業績は、見通しと大きく異なる結果となる可能性があります。